

令和2年度 第2回 堺市SDGs未来都市推進本部会議 議事要旨

日時 令和2年10月13日（火） 10時30分～11時

場所 堺市役所 秘書課会議室

議題 次期SDGs未来都市計画について

<市長>

次期SDGs未来都市計画の策定にあたり、各局には17のゴール、169のターゲットに対し、堺市で何が出来るのかをゼロベースで考えてもらった。堺市は、SDGs未来都市の第1回公募で選定された市であるから、最も先進的な都市となるように積極的に取組を推進していきたい。

ゴール実現イメージに掲げた目標は必ず達成する。そのために何が出来るかを考え事業を実施していきたい。

<市長公室長>

本日は、次期計画の素案及びゴール達成に向けた新たな取組などについて議論いただきたい。資料を事務局より説明する。

政策企画部より資料説明

<市長公室長>

まず、次期計画の骨格部分である資料1についてご意見をいただきたい。

<環境局長>

環境面の2030年のあるべき姿に都市の「低炭素化」とあり、一方で取組には「脱炭素」とある。これは、2030年の段階で脱炭素は不可能であるが、取組は脱炭素をめざすという意味である。将来像は、経済と調和した環境先進都市とあり、まずは環境面で先進的な取組を進め、経済、社会の将来像の達成にも貢献していきたい。また、今年度中に堺環境戦略の策定も予定している。

<市民人権局長>

優先的なゴールにジェンダー平等が位置付けられていることは、本市がジェンダー平等をさらに推進していく姿勢の表れと認識している。また、基本姿勢にも、多様性と人権の尊重とあり、平和と人権を尊重するまちづくり条例などの趣旨にも合致する。来年度、男女共同参画プランや人権推進計画の改訂を予定している。SDGs未来都市計画や次期基本計画とリンクさせて、女性が輝く堺市となるように各計画に盛り込んでいきたい。

<市長公室長>

次に、資料 2 で示している各ゴール実現イメージに向けて、各局で検討している取組についてご意見をいただきたい。

<健康福祉局長>

コロナ禍でフレイル予防の取組が難しくなっており、デジタルによるフレイル予防を検討している。現在、高齢者の実態把握の準備を進めている。デジタルによるフレイル予防は、高齢者だけでなく障害者の方なども必要となる。地域共生社会の実現に向けて、高齢者、障害者と分けるのではなく、共通する支援の必要性を見据え、横串を刺して取り組みたい。

<産業振興局長>

民間の中小企業の SDGs に対する意識調査によると約 25%が積極的に取り組み、約半数が知っているが取り組んでいない状況である。SDGs の達成においては、中小企業の取組を進めることが重要であり、一層の普及啓発が必要である。

新たな取組では、コロナ禍で非正規労働者をはじめ女性の就労が厳しい状況にあることから、成果連動型報酬事業を活用し、民間と連携した女性の就労支援に取り組みたい。また、脱炭素につながる投資の促進や大手企業とのオープンイノベーションなどにも取り組みたいと考えている。

<中野副市長>

経済に関する 2030 年のあるべき姿に関連してイノベーションの定義をはっきりさせるべきと考える。ローテクでも組み合わせによって、今までになかったモノやサービスが生まれる。「もののはじまりなんでも堺」を過去のこととしてではなく、現在進行形でイノベーションに取り組む事業所が市内にたくさんあることを子ども達に広く知ってもらうことが大切。手の届く身近なものとしてイノベーションを取り上げてもらいたい。

<環境局長>

来年度は、LED 導入などによる市施設の省エネ化や脱炭素に向けた次世代自動車の導入促進、行動科学の知見を活用した環境に配慮した行動変容の促進などに取り組みたい。また、環境分野の国内外の都市間連携に向けた調査等も実施したいと考えている。

<市長公室長>

本日示した 8 つの優先的なゴール、9 つの着実に推進するゴールの枠組みを基に、計画本編の作成を進める。また、KPI は、まず各局で検討してもらい、事務局と調整のうえ設定していく。次回の SDGs 未来都市推進本部会議で KPI を含む計画本編の案を示す。

<市長>

今回の SDGs 未来都市計画は、力を入れて実現に取り組んでいく。SDGs に力を入れて取り組むことで堺のブランド価値やイメージアップにつながり、堺でビジネスをしたい企業や堺に移住する方も増える。また、世界から見た都市イメージ、都市ブランドの面からも重要な意味を持つことになる。

事業実施においては、企業や大学などを巻き込んでいくことが重要である。SDGs に取り組みたい企業等を、コネクテッドデスクでつなぎ、投資を呼び込み、堺で実例を作っていく。

また、SDGs に関する堺の取組や世界の動きを、例えば市内の小中学生に知ってもらい、国際感覚や多様な価値観を身に付けてもらうなど教育においても非常に価値があると思う。

SDGs を推進するためのプラットフォームについては、まずは SDGs 未来都市計画を定め、市が行うべきこと、市民や企業、団体に協力を求めることを明確にしたうえで、プラットフォームの形成を進めたい。